

P.104~105 確認問題 A～C

P.104 確認問題 A

- (1) ア / 音楽を聞くことが好きです
- (2) イ / テニスをするには
- (3) ウ / 医者になることです

P.105 確認問題 B

- (1) 私に会いに来ました
- (2) その知らせ[ニュース]を聞いて
- (3) 答えるのが

P.105 確認問題 C

- (1) 何か読むのにいい本を持っていますか
- (2) 何か食べ物がほしいです
- (3) 見せる写真[絵]を持っています[があります]

【解説】

確認問題 A

- (1) 主語が3人称・単数の場合でも不定詞の形は〈to+動詞の原形〉。
- (3) be 動詞の原形は be。

確認問題 B

- (1) 〈come[go] to+動詞の原形〉「～するために来る[行く]」→「～しに来る[行く]」

確認問題 C

- (3) show you a picture の関係。

P.106 STEP 1

1 (1) to be[become] (2) to open (3) to read (4) To find (5) to live

- 2 (1) 私は祖母を訪ねるために名古屋に行きました。
 (2) トムは病人を助けるために働きました。
 (3) 私はここにまたいることができ[来られて]幸せです。
 (4) スミスさんはその手紙を読んで悲しく思いました。
 (5) そのコンピュータは持ち運ぶのが簡単です。

- 3 (1) many places to visit
 (2) anything hot to drink
 (3) something to write with
 (4) someone to help him
 (5) no time to talk

【解説】

- 1 (1)～(3)は動詞の目的語として、(4)は主語として、(5)は補語として使われている。
- 2 (1)・(2)は「～するために」の意味で目的を、(3)・(4)は「～して…(喜ぶ、悲しむ)」の意味で感情の原因・理由を示す。(5)は「～するのが…だ」の意味で形容詞を修飾する不定詞。
- 3 形容詞的用法の不定詞は修飾する名詞・代名詞のあとに置く。
 (2) 形容詞と不定詞が～thing を修飾するときは〈～thing+形容詞+to+動詞の原形〉の語順。
 (3) with は日本語に表されないので注意。この「何か書くもの」は「ペン」や「えんぴつ」などのこと。
 something to write on なら、同じ「何か書くもの」でも「用紙」の意味になる。

- 4** (1) to meet (2) to sing (3) something to drink (4) to see (5) is
- 5** (1) library\study / 健は英語を勉強するために図書館へ行きました。
 (2) anything\eat / あなた(たち)は何か食べるもの[食べ物]を持っていますか。
 (3) \Learn / 外国語を学ぶことはおもしろいです。
 (4) is\help / 彼の仕事はお父さんを手伝うことです。
 (5) Kyoto\see / 私たちは古い建物を見るために京都を訪れました。
 (6) difficult\open / この箱は開けるのが難しい[開けにくい]です
- 6** (1) ア (2) イ (3) エ
- 7** (1) have anything to
 (2) the park to play soccer
 (3) began to read books
 (4) To sing together is

【解説】

- 4** (1)・(2) 主語が3人称・単数の場合も、動詞が過去形の場合も、不定詞は常に〈to+動詞の原形〉の形。
 (5) 不定詞が主語のときは3人称・単数扱い。
- 5** (1) 「英語を勉強するために…」 → 副詞的用法。
 (2) 「食べるための何か[何か食べ物]」 → 形容詞的用法。
 (3) 「外国語を学ぶことは…」 → 名詞的用法(主語)。
 (4) 「…はお父さんを手伝うことです」 → 名詞的用法(補語)。
 (5) 「古い建物を見るために…」 → 副詞的用法。
 (6) 「開けるのが難しい」 → 副詞的用法(形容詞を修飾)
- 6** (1) 形容詞的用法。
 (2) 副詞的用法(原因)。
 (3) 名詞的用法。
- 7** (4) 不定詞が主語の文。

P.108 STEP 2

- 1** (1) ア (2) エ (3) エ (4) ウ (5) ウ
- 2** (1) to play (2) to eat (3) to meet (4) to do
- 3** (1) What do you want to be
 (2) had no time to watch
 (3) you come to my house to have lunch
 (4) you bring me something cold to drink
 (5) felt happy to hear the news of

【解説】

- 2** (1) 「私の姉はピアノを弾きます。彼女はそれが大好きです。」 → 「私の姉はピアノを弾くことが大好きです。」
 (2) some food 「いくらかの食べ物」 → something to eat 「何か食べるもの」
 (3) 「私は彼に会ったときとてもうれしかったです。」 → 「私は彼に会えてとてもうれしかったです。」
 (4) 「私の息子は今日たくさんの数学の宿題をしなければなりません。」 → 「私の息子は今日すべき数学の宿題がたくさんあります。」

- 問1 エ
問2 the best way to go to school
問3 ア, オ

【解説】

- 問1 直前の洋子(Yoko)の発言 you will have a good time in this town を指している。
問2 不定詞の形容詞的用法の文。to go to school が the best way を修飾している。「私は、自転車に乗るのが学校へ行くいちばんいい方法だと思います。」
問3 ア 本文2行目 I came here to say hello to your family の内容と合う。
イ 本文8～9行目「父はこの近くの工場で働く予定です。」という部分と一致しない。働くのは Bill の父。
ウ 本文14行目の最初の文で by bike と言っているので、徒歩ではない。
エ all day は「1日中」。本文18行目「朝は10分ごとに来る」と合わない。
オ 本文5～6行目で同じ高校に通うということがわかり、さらに20行目の See you next Monday. の内容と合う。

《全訳》

- ビル：こんにちは、はじめまして。ぼくの名前はビル、昨日隣に引っ越してきました。だから、あなたの家族にあいさつをしに来ました。
洋子：あら、こちらこそはじめまして。私の名前は洋子です。来てくれてありがとう。あなたは高校生ですか。
ビル：はい、来週の月曜日から宮城高校に通います。
洋子：あら、それは私の学校よ。あなたと私は同じ高校の生徒になるのね。で、どこから来たの？
ビル：両親といっしょにニューヨークから来たんだ。父はこの近くの工場で働く予定なんだ。だから、ぼくは、自分の市を離れなければならなかったの、今少し悲しいんだ。
洋子：あなたの気持ちはわかるけれど、この町で楽しく過ごせるわよ。
ビル：ありがとう。それを聞いてうれしいよ。
洋子：何か聞きたいことはある？
ビル：うん。学校へはどうやって行くの？
洋子：たいてい自転車で行くわ。ここから15分くらいかかるの。だけど雨が降っているときはバスを使うわ。
ビル：なるほど。自転車に乗るのは学校へ行くいちばんいい方法だと思うな。この週末に自転車を買うよ。バスはひんぱんに来るの？
洋子：ええ、朝は10分ごとに来るわ。バスを使うなら私がいっしょに行くわよ。
ビル：どうもありがとう。来週の月曜日にね。
洋子：またね。